



# SAMさん

[TRF]

第1回目

教えて  
センパイ!

老若男女、日本で一番名を知られているダンサーは？ といえば、やはりこの人をおいて他にはいないでしょう。SAMさん！ 1980年代にダンサーとして活動を開始し、1992年にはTRFとしてデビューし一躍人気者に、その存在感とスキルで「ダンサー」の市民権を一気に引き上げた。SAMさんがいなかったら、今の日本のダンス界はまた違ったものになっていただかもしれない。30年以上に渡ってダンス界を見続けて来たSAMさんの目には、今の「ダンス部」はどう見えているのだから？

「俺が最初にダンスを見たとき、こんなカッコいいものはない！」って衝動があった。その当時、日本でストリート系のダンスやっつてる人なんてホント数えるほど。それを今やこんなにたくさんの方が夢中になってくれるなんて、こんなに嬉しいことはない

「サよ！」

テレビ番組やコンテストの審査員を通じて、ダンス部の作品や練習にも関わっているというSAMさん。特に、テレビ番組での企画では、SAMさんのちよとしたアドバイスで、部員の動きがアツと云う間に修正されるシーンなど、さすがプロ！という指導の違いを見せてくれる。

「ダンス部は大人数の、いわゆる『群舞』になる作品が多い。だから、キレイにピッタリ合わせることにごだわりすぎるところがあるけど、例えばヒップホップにはストリートのエッセンスが必要だから、グルーブやフィーリングも感じるようになってほしいですよ」

そのためには、やはりダンスの歴史を知ることやオリジネーターを研究することが必要になってくるというが、今の部活ダンサーに最初からそれを理解させるのはな

## みんなで考えて 行くことが 部活ダンスの 良さじゃないかな

インタビュー&文: 石原 久佳

「今は多くの若者の前に漠然とダンスがある環境。全員がダンスに詳しいわけでもないし、プロを指しているわけでもない。ダンス部の練習も必ずしも合理的ではないものが多いし、指導者や環境の面でもまだまだでしょう。でも、そこが逆に部活としてのダンスの良さなんじゃないかな。みんなで考えていくことがね」

また、ダンス部で磨かれる能力に、チームの協調性やダンスリーダーたちの統率力を上げるSAMさん。初心者育成、部員を動かす力、練習内容の決定、作品作り、モチベーション作りなどなど、プロ並みの能力とプライドが備わっていることに関心するといふ。

「やっぱり勝つためにはコレというやり方に絞ることが大事。例えば、部員の能力をフェアにかき集めて作品を作ってしまうスタイルはバランスが崩れることが多い。唐突に男子のブレイクのフロア技が入ってくるとかね。あと、テーマにとられすぎないほうがいいかも。最初のうちは得意なステップを工夫して変えて行くやり方が、きちんとダンスを見せられると思います」

今年の夏もダンス部の活躍を見守り続けたいというSAMさん。いつか、キミたちもSAMさんにダンスを見てもらえるまで、日々がんばろう！

★SAMさんによる部活ダンサー応援ワークショップが開催されます。くわしくは裏表紙もしくは、DANSTREETサイト(danstreet.jp)を見てね!

## 世界で活躍する女子高生ダンサー

みんなと同じ年頃で、世界で活躍する女子ダンサーがたくさんいます。彼女たちの活躍を励みにしよう!

### B-Girl Ami

ビーガールアミ



B-Boyって元々はブレイクダンサーのことを言うから、B-Girlはもちろん女性ブレイクダンサーのこと。実は日本ではB-Girlのレベルは高く、若手筆頭株が高校2年生のAmi。なんとブレイクダンスを始めてまだ5年で世界の舞台上で活躍している。学校のダンス部には所属していないが、文化祭で踊ったときは大喝采だったそう。小柄で華奢な雰囲気からは想像できないスピード感あるフットワークとセンスが特徴! www.danstreet.jpにインタビュー有り。



### RUSH BALL

ラッシュボール

MAIKA (左)  
KYOKA (右)



大阪出身、幼なじみの2人は11年前にダンスチーム「RUSH BALL」を結成。キッズ時代からさまざまなコンテストやバトルを勝ち抜き、ティーン時代にはプロの世界大会で日本代表になるなど、大人が恐れるほどの存在に。企業ともダンサー契約を結び、個々の活動も充実。その中で、昨年高校を卒業したKYOKAが大病を患い緊急入院。大手術の末、奇跡的な復活を果たしトップ戦線へ向けてリハビリを重ねている。がんばれ! KYOKA!

## 竹早高校ダンス部 優勝 工学院ダンスコンテスト2014

### アイソレーションの 美学とコントラスト

前半から中盤にかけてチーム全体で見せるアイソレーションの作りが素晴らしい。幾何学的に、アイソレーションのシーンを直線的に見せた後、リズムノリを需要視するハウスダンスや、ファンキーさを見せるロックダンスを踊ることでそれぞれの魅力が上手く引き立っている。



動画  
CHECK

### いろんなジャンルを 踊りこなす 引き出しの多さ!

無機質な始まりからダイナミックな構成に展開していく見ごたえのある作品で、いろんなジャンルにトライしている引き出しの多さも感じました。構成力もあり、見せ場をいくつも感じさせる作品でした。



## 【ビッグクラス優勝】 大阪府立今宮高等学校/ 第7回日本高校ダンス部選手権 「Fit's DANCE STADIUM」

### 世界観をわかりやすく 伝えた!

20名以上のダンサーが踊る大所帯のチーム。和服姿のダンサーたちが集結し、お辞儀の後、賑やかに和楽器の演奏を行なうシーンから始まる。この時点でこのチームがどのような世界観を持って作品を展開していくかが十分に伝わる。そして「和服」で「ストリート」と言う一見アンバランスな世界観がこれからの展開へ向けて観客の興味を引きつけることに成功している。



動画  
CHECK

### 群舞の迫力を 最大限に!

奥行きのある構成で、群舞の迫力がとても伝わってきました。かなり早いBPMですが、しっかりそろっていて、ステップやアームスの細かい動きもしっかり見えました。衣装や小道具の転換の仕方がスムーズでダンス以外のエンターテインメント性も高いです。



## 大宮北高校ダンス部 NO DOUBT 5th 工学院 優勝

### チームの構成力と 見せ方が魅力的!

滑らかな音取りと、アクセントに合ったストップングを混ぜ合わせることで、メリハリのある作品に。男女の役割分担が秀逸で、統一された衣装は男女で着こなしが違う。さらに女性は長髪にカチューシャ、男性は短髪とアクセントを付けて男女の対比を適度に表現。この前提を活かし、男性陣と女性陣の動きを若干変えて振り付け。これが、膨らみのある演出効果を生み出している。



動画  
CHECK

### スタートに インパクトが!

始まりのシンプルな音取りにグルーブ感があり気持ちよく、動きもそろっていてインパクトがあります。踊るところ、ストップするところをうまく取り入れているので、細かい音どりがあってもちよこちよせず、構成も見やすさずっきり完結している印象です。



## 山村学園高等学校 テーマ「秀樹」

### 視覚と脳で 注目を集める構成!

シンガー役とダンサー役がそれぞれ別々の動きをしてエンターテインメントを作り出している。シンガー役がいるおかげで作品の「軸」が見えやすい。また、2つの役割がフォーメーションにも奥行きを違和感なく作り出している。冒頭のなぞかけの表現が意味することに気づいたと同時に大開脚のジャンプで驚く。「考える」と「驚く」という情報が同時に頭に入ること新鮮な興奮を感じさせる。



動画  
CHECK

### 徹底的に 勢いで押す!

コンテストにこのテーマで挑むのはなかなか勇気のいることだと思います。しかし、音のミックスをセンス良く加え、ダンスの見せ場を作ってスキルと一体感も表現しつつ「秀樹」を徹底的に押す。観ている人を巻き込める勢いがある作品だと思います。



## ココが違うぞ! 強豪校の ステージ作品

プロダンサーがYouTube動画で誌上ジャッジ

コンテストのジャッジはどこを見ている? 強豪校の振り付けにはどんなポイントがあるのか? そこを知ることが勝利への近道だ!

ジャッジ



### TAKAHIRO

18歳で独学でダンスを始め、23歳で渡米。数多くのコンテストやステージで活躍し、日本ダンス大会をはじめ多くの審査委員を務める。



### KETZ

中高のダンス部で部長をつとめ、学生時代からプロとして活躍。人気アーティストのバックや振り付け、衣装制作や演出なども手がける。

## 【スモールクラス優勝】 大阪府立箕面高等学校/ 第7回日本高校ダンス部選手権 「Fit's DANCE STADIUM」

### 静と動の 王道比率

前半は、身体を細かくコントロールしていくポップダンスを重みを持って見せて、後半にはファンキーに動くロックダンスを軽やかかつダイナミックに展開することで非常に見やすい作品となっている。女性の多いダンス部大会の中で「男性だけのチーム」という環境をうまく活かし、ポップやロックに必要な筋力を武器にしている。



動画  
CHECK

### 繊細さとライブ感の バランスが良い!

9人とは思わせない迫力と構成力がありました。アニメーションダンスからポップダンス、ロックダンスにスムーズに展開していて、世界観がコアになりすぎず、繊細さとライブ感、チーム感が融合したエンターテインメント性の高い作品だと思います。

